

広島大学

令和4年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜Ⅱ型

解答例又は出題の意図等

教育学部 第五類(人間形成基礎系)

教育学系コース

科目名:小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和4年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅱ型）
教育学部
第五類（人間形成基礎系） 教育学系コース
小論文問題 解答例又は出題の意図等

設問1

（解答例）

1960年代には青年という猶予が与えられずに早期に大人にさせられていた中卒労働者とさらなる学びを得る環境が保障されていた高校生との間に分断状況があるとされていた。その後、高校全入や大学進学率が高まるにつれて、高校内部での序列や高卒後進路という段階での分断や、学ぶ可能性のある正規雇用の労働者と不定期雇用で必要なくなったら切られてしまい学ぶ機会のない労働者との間の分断などが生じている。

（192字）

設問2

（解答例）

ここでいう「教育の逆機能」とは、フリーターにならないための教育を一生懸命、行えば行うほど、もしフリーターになってしまった場合、周りからは自己責任論を強く押し付けられるだけではなく、自分の努力が足りなかったという思いを強くし、自信喪失してしまうといった、教育が本来有する善意が生かされないことである。私は、教育は子どもたちに自信を与え、未来に向かって進む土台となるものだと思う。にもかかわらず、熱心に教育をすることによって、こうした逆に機能してしまう危険性があると気が付き、驚いた。子どもの将来を支えるためには教育はどうすればいいのか、この点について常に考えなければいけないと思った。（291字）

設問3

（出題の意図）

文章を読み、現代社会における青年期教育のあり方について具体的な例を挙げつつ記述させることで、教育が教育の論理だけではなく、社会の論理にも影響を受けながら展開していることを理解し、「教育」・「教育学」に対する主体的、論理的思考力、具体的な問題について多様な視点から判断する能力、自分の意見を他人に分かりやすく伝える表現力を問うことを意図している。